

忠生中学校だより

げんとう かせ
原頭の風

—2024年度 第2号—



2024年5月17日発行

子どもの数は命の数～生徒が主役で
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



夢をもって、チャレンジしよう！

校長 高橋 博幸

いよいよ来週の土曜日、生徒たちが楽しみにしている体育大会が行われます。今週から、生徒たちは体操着で登校して、本格的に体育大会の練習が始まりました。生徒一人一人が一生懸命に練習し、取り組み、準備してきた成果・晴れ姿を皆様に披露できると信じています。たくさんの方々のご来校、ご参観をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします

さて、今月号は「夢」についてのお話しをします。皆さんは「夢」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか？寝ているときに見るのも「夢」と言います。また、「将来、自分がなりたい」と思い、想像するのも「夢」と言います。では、「夢」の意味を知っていますでしょうか？

国語辞書で「夢」という言葉を調べてみると、

- ①眠っているときに本当にあるように頭の中にえがかれるもの
- ②いつか、本当のことにしたいと思っている望み
- ③はかないこと
- ④できそうにないこと



と、書かれていました。

②の「いつか、本当のことにしたいと思っている望み」という意味はよいとしても、③の「はかないこと」や、④の「できそうにないこと」などは、すごく落ち込んでしまいそうです。

③や④の通り、はたして「夢」は本当に実現できないものなのでしょうか？私はそうは思いません。人はたった1回の人生のために、この世に生まれてきます。そして、みんな満足のいく人生を送りたいと願っています。幼稚園のときなどには、テレビのヒーローになりたいと思った人もいるのではないのでしょうか。「できそうもない」というのなら、「頑張ってみようじゃないか！」と思いませんか？そして、先ほどの辞書の「夢」の5番目に、「自分の力で実現していくもの、大きな可能性のあるもの」と書き加えることができるようにチャレンジしてほしいと思います。

毎日の生活の中には、やらなくてはいけないことや解決しなければならない課題がたくさんあります。生徒の皆さんも、それは同じかもしれません。しかし、その中で、自分の将来に向けた夢や目標を、ぜひ、もってもらいたいと思っています。将来の大きな夢でも、目の前のすぐに達成可能な目標でもかまわないと思います。本当はその夢の実現、もしくは目標達成までの道筋や方法が明確になっていけば、さらに良いのかもしれませんが。そして、次のステップとして、まずは夢や目標をもってもらいたいと思います。成長とともに世の中の現実や、自分の特性に気付き、それが途中で変わってしまっても全くかまわないと思います。私も幼い頃は、テレビに出てくる正義のスーパーヒーロー（仮面ライダーやウルトラマン）になりたいという夢をもったことがあります。具体的な夢や目標をもつことで、それを達成するための努力をしたり、準備や心構えをしたりすることができます。そして、それが生徒の皆さんの成長につながると信じています。

今月も、保護者や地域の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

◎ 桜池の白い鯉～命の大切さを学びました～

4月24日（水）のお昼頃に桜池の一匹の白い鯉が池から出て、干上がった状態で発見されました。前日から降る大雨の影響で池の水があふれてしまったからなのか、原因はわかりません。

毎日、事務の小瀬さんと用務員の大久保さんが、愛情をかけて、鯉に餌をあげて育てていました。特に白い鯉は、5匹の鯉の中で一番小さかったのですが、すくすく育って大きくなってきたところでした。

4月25日（木）に全校生徒になにか知っていることがないかアンケートを実施しました。有力な情報提供はありませんでしたが、生徒のみなさんから心温かな意見がたくさん上がりましたので一部をご紹介します。



- 鯉が自分ではねて池の外に出たなら、かわいそうだけど仕方ないと思えるけど、もし誰かが故意にやったことなら絶対に許せないし、鯉に謝ってほしい。動物でも植物でも命を大切にしてほしい。
- 部活帰りに鯉を見たりしていて癒されていたのですごく悲しいです。鯉も人間と同じ命があるから悲しい。
- 1週間に1回、桜池に異常がないかを見る係を作って見守ることはどうだろうか。



その他ご紹介しきれないほどの意見がありました。忠生中の生徒の皆さんと命を考える出来事でした。

◎ 部活動保護者会～部活動のあり方～

5月2日（木）に部活動保護者会が行われました。平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。

今年度の部活動については、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、「日本型学校教育」の意義を踏まえ、運動部活動においては、生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにします。

また、文化部活動においては、生涯にわたって学び、芸術文化等に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めるとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにします。

部活動については教育課程外の活動でございます。各顧問の教員が勤務時間外に行うため、教員のボランティア精神に頼らなければ維持できない現状です。教員の熱意によって長年にわたり続けられた部活動ですが、教員がいなければ部活動は成立しません。

様々な課題を乗り越えて、生徒のために努力する本校の教員に、どうぞご理解、ご協力をお願いいたします。



◎ 町田市中学校教育研究会

5月9日（木）午後2時から町田市民ホールで町田市中学校教育研究会定期総会、記念講演会が開催されました。そのため、生徒の皆さんは、4時間授業をして下校しました。

町田市中学校教育研究会は、町田市内の公立中学校の先生方の勉強会です。講演会には、「夜回り先生」こと水谷修先生が講師でお話ししました。会場に来ている600人の先生方が真剣にお話を聞いていました。



◎ 生徒総会～自治の力を伸ばしました～

5月10日（金）に、生徒総会を開催しました。生徒会役員・中央委員を中心に準備を進め、活発な質疑の末に、本部役員以下、各委員会の今年度前期の活動方針が承認されました。

学校経営方針の目指す生徒像の一つとして「自ら考え判断し、行動できる生徒」を、本年度育てたい力の一つとして「自学創造」を挙げました。

そして、最終的には、自分たちで課題を見つけて、解決策を話し合い、自分たちで忠生中学校をさらに良くしていく力、つまり「自治」の力を付けてもらいたいと思います。

生徒総会も活発でしたが、中央委員会や学級討議でも、意見や質問がよく出て、「学校を良くしていこう」という意欲が見られました。今の自治の力を、さらに伸ばして、より良い忠生中学校を創り上げることを願っています。



◎ 若手教員研修会

5月10日（金）16時から校長室で、若手教員研修会を行いました。この研修会の目的は、「一人一人が活躍の場があることや、それを通して教員としての力を伸ばしていくことで、若手教員が元気になれる」と「教員同士が切磋琢磨できるような学び合いの場を設け、チーム力を高める」です。第1回若手教員研修の講師は、校長先生で「生徒理解」について勉強しました。今回は、技術科の主任教諭の辻先生が講師になり、ICT機器の効果的な活用について勉強しました。若手の先生方は、真剣に勉強しています。



◎ 百花繚乱（ひゃっかりょうらん）～今年度の体育大会スローガン～

体育大会の季節がやって来ました。5月13日（月）から、元気な掛け声と歓声が、学校中に響き渡っています。5月15日（水）は、はじめての全体練習でしたが、体育祭大会行委員を中心に、開閉開式や準備体操・行進の練習をしました。生徒の皆さんは真剣に取り組んでいました。

今年度のスローガンは、「百花繚乱」です。「百花繚乱」を辞書で調べてみますと、「百花」は様々な花の意で、「繚乱」は花が咲き乱れることです。つまり、「百花繚乱」とは、色々な花が咲き乱れることです。生徒の皆さん一人一人が、「笑顔の花」を咲かせてください。そのためには、お互いにそれぞれの個性を尊重し、クラス全員が団結・協力して、心をついに、心から楽しいと思える体育大会にしてほしいと願っています。5月25日（土）には、練習の成果が存分に発揮されることを期待しています。



◎ 「町田市の花壇コンクール」で優秀賞を受賞しました

本校の正門を入ると、すぐに大きな花壇があります。北校舎の2年生の昇降口の前にも、「花+花サークル」の皆さんが管理している花壇があります。

今回、「町田市の花壇コンクール 学校花壇の部」において、優秀賞を受賞しました。また、「花+花サークル」の花壇は、優良賞を受賞しました。園芸委員の生徒の皆さんやPTA、「花+花サークル（地域協力者）」の皆様、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

